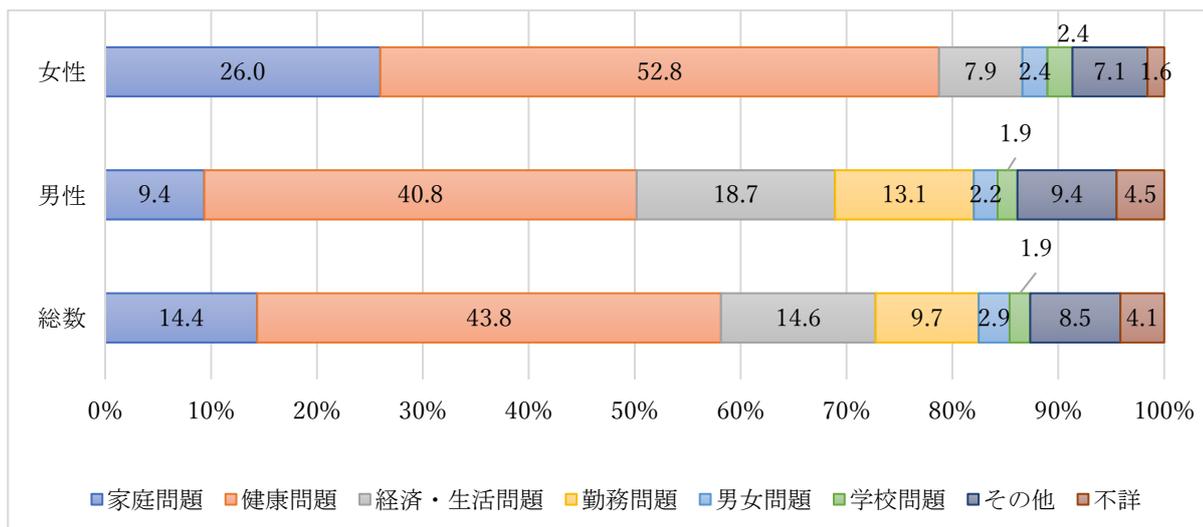


令和3年8月23日に開催した長浜市健康づくり推進協議会にて、「こころ・休養分野」「自殺対策分野（自殺対策計画）」の説明において、市民の自殺原因の男女差についてご質問いただいた点について、お答えさせていただきます。

**長浜市 自殺の原因・動機の男女比較について（H21～R2）**

※一人の方が複数の原因・動機に該当する場合があります。

※H29年は男女別のデータがありません。



**【自殺原因について】**

**男性：**①健康問題、②経済・生活問題、③勤務問題の順に多い

**女性：**①健康問題、②家庭問題、③経済・生活問題の順に多い

長浜市の課題である「自殺者の中で働き盛りの男性の自殺者が多い」という点をふまえ、悩みを抱えている方を支えるネットワークの強化を推進するためには、地域や家庭だけでなく、職場（企業）でのゲートキーパーの役割も大きいと考えます。引き続き、企業にゲートキーパー養成講座を受けていただけるよう取り組みます。

また、女性は男性に比べ家庭問題の割合が多いことから、女性の集まる場を対象とした街頭啓発等を実施し、相談機関を広く周知することで、悩みがあったときに専門機関に相談ができる仕組みづくりをしていきます。

**ゲートキーパーについて**

ゲートキーパーとは、悩んでいる人に「気づき、声をかけ、話を聴いて、必要な支援につなげ、見守る人」のことをいいます。

長浜市のゲートキーパー養成講座では、自殺の現状、ゲートキーパーの必要性と役割、セルフケアなどについて学んでいただきます。

受講者に家庭訪問などの特別な活動をしていただくのではなく、普段の生活(家庭、地域、会社等)の中で悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聴いて、必要な支援につなげ、見守っていただくことをお願いしています。

詳しくは、協議会時に配布させていただいてます、リーフレット「見守るひと ゲートキーパー」をご覧ください。